

授 業 科 目 名	国語（書写を含む。）	教 員 名	菅 邦男	免 許 ・ 資 格 と の 関 係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	必修
授 業 形 態	講義	担 当 形 態	単 独	卒 業 要 件	保育士	
科 目 番 号	KY0101	配 当 年 次	1 年 前 期		こども音楽療育士	
単 位 数	2 単 位			小 幼 コース	必修	
科 目	教科に関する科目（幼稚園、小学校）					
施 行 規 則 に 定 め る 科 目 区 分 又 は 事 項 等	国語					
科 目						
系 列						
一 般 目 標						
到 達 目 標	日本における文字言語の成り立ちを学び、複数の文字を有することによる表現の多様性が豊かな言語文化を産んだこと、それは先人の努力の賜物であることを理解する。また古文、漢文、ことわざなど伝統的言語文化に触れ、その豊かさを実感する。					
授 業 の 概 要	日本語の主要な特性として、文字言語の豊かさがあげられる。表意文字（漢字）・表音文字（カタカナ、ひらがな、ローマ字）を有し、これが豊かな言語表現をもたらした。日本の伝統的言語文化はこの多様な文字表現の上に成り立っている。日本における文字言語獲得の過程と、仮名の創造など先人の工夫を知り、豊かな伝統的言語文化（古文、漢文、ことわざ、四字熟語等）を学ぶことによって国語への理解と愛着を深める。また、漢字の筆順等を含む書写についても学習する。授業形態は講義とする。アクティブラーニングとして、「振り返り、個別の質疑応答、対話型講義、小テストなど」を取入れる。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学科のディプロマポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている、6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	<p>第1回：日本語の特性はどのようなところにあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語の特性は表意文字・表音文字と多様な文字言語を有するところにある。それがどうして可能になったのか、概説的に学ぶ。 <p>第2回：漢字の輸入と日本語化</p> <ul style="list-style-type: none"> 古代、日本語には話し言葉はあったが、文字言語は無かった。漢字を輸入したがそれは中国語という外国語であった。漢字を日本語として使用していく過程について学ぶ。 <p>第3回：かなの誕生</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字は表意文字である。日本語の特徴である助詞や助動詞を表現するには不便であった。それを解消するため表音文字（仮名）が作られた。その過程について学ぶ。 <p>第4回：もう一つの表音文字：ローマ字</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の新しい表音文字としてローマ字がある。日本におけるローマ字使用の歴史と現状について学習する。 <p>第5回：伝統的言語文化を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統的言語文化とは何か、主として義務教育段階（小学校・中学校教科書）での伝統的言語文化を例に、概説的に学ぶ。 <p>第6回：古文・随筆を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統的言語文化としての古文について学ぶ。随筆を対象とし、読解力を培う。また独特のリズムを味わい、先人の精神にふれ、古文に親しめるようにする。 <p>第7回：古文・物語を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統的言語文化の中の古文について学ぶ。物語を対象とし、読解力を培う。また独特のリズムを味わい、先人の精神にふれ、古文に親しめるようにする。 <p>第8回：漢詩を学ぶ</p>					

	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的言語文化としての漢詩について学ぶ。漢詩を音読し、独特のリズムを味わう。先人の心にふれ、読解力を培い、漢詩に親しめるようにする。 第9回：ことわざを学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的言語文化としてのことわざの意義について学ぶ。各ことわざの意味と用法、特に間違いやすいことわざについて学習する。 第10回：四字熟語を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的言語文化としての四字熟語について学ぶ。各四字熟語の語源と意味について学ぶ。熟語によってはその語源となる漢文をも学習する。 第11回：漢字の部首を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・教育漢字の部首について学ぶ。部首の名と意味を知る。また、「字」など、その部首の使われている漢字の意味についても考える。 第12回：筆順を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・書写としての筆順の意義について学ぶ。また、間違いやすい仮名の筆順、及び教育漢字の筆順について学習する。 第13回：硬筆書写の基礎知識・実技 <ul style="list-style-type: none"> ・字を書く時の姿勢、鉛筆の握り方、丁寧に書く態度など硬筆書写の基本を学ぶ。点画の長短や方向、接し方や交わり方、筆順に従って書くなど、実技を通して学習する。 第14回：毛筆書写の基礎知識・実技 <ul style="list-style-type: none"> ・筆の持ち方、姿勢、点画の種類等、毛筆書写の基本を学ぶ。筆圧、用紙と文字のバランス、書く早さなどを意識して書くなど、実技を通して学習する 第15回：毛筆書写の実技・まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆書写について学んだことを意識し、まとめとして作品を書き、交流する。 <p>定期試験</p>
<p>学生に対する 評価</p>	<p>課題提出30%、定期試験70%で評価を行う。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
<p>授業外学習 について</p>	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>毎回の講義では、事前学習として、講義前に配布されたプリントや指示された教科書・参考書を読み、重要な個所についてマークするなど事前に把握・勉強しておくこと。また、事後学習として、講義で学んだことはカラーペン等でマークし、さらに板書等を書きこみ、要点等を整理して一冊のノートにまとめること。また、毎週土日に必ず振り返りを行うこと。</p>
<p>テキスト</p>	<p>『日本語コミュニケーション』 石塚修 他著 実教出版</p>
<p>参考書・ 参考資料等</p>	<p>未定</p>
<p>担当者からの メッセージ</p>	<p>特になし</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>毎週木曜日 15:00～17:00 その他の日時は、メール等でアポイントを取って来室すること。</p>